

スタンフォード海外研修報告書

国家公務員共済組合連合会虎の門病院

放射線部 濱田 祐介

今回、スタンフォード大学にて8月27日～9月3日に行われました海外研修についての報告を述べさせていただきます。4つのテーマについて報告いたします。

1) 期待していたこととその結果

今回のカリキュラムとして Cardiac MRI/CT, Neuro MRI, CT Angiography, fMRI, Molecular imaging など大変盛りだくさんな内容となっていました。また、MRI を中心とした講義になっていましたので MRI 分野の研究を行っている私にとっては非常に中身の濃い研修となりました。Neuro MRI, fMRI など頭部領域に関する研修は圧巻でした。特に当院では行っていない Fiber Tract Mapping による Tractography は High Field MRI を駆使した非常にきれいな画像を拝見させていただきました。また、fMRI ではスタンフォード大学で開発したソフトを駆使して脳の活性領域をノイズが少なくリアルタイムに描出した実験は印象的でした。最近、私が興味をもって取り組んでいる心臓領域では cine MRI, Perfusion, Delayed-enhancement 等の講義を受けました。この点に関しては概要といった内容で少し残念に感じました。しかし、3T にて study を行っている場合もあり問題もありますが非常に興味深い点もありました。その他のモダリティに関しても CT, PET など最新情報を講義していただきました。

2) 得られた結果とそれをどう生かすか

今回の研修では、さきほど述べたようにさまざまなモダリティについて研修をおこないました。そこで学んだことを当然、臨床の現場や学会等にて生かしていかなければなりません。まず、臨床の現場で生かしたいと思ったことは 3D ラボセンターのことが第1に挙げられます。当院では、3D 等のデータ構築はその検査担当技師、もしくは検査担当医師によって行われます。その作業を行う場合どうしても個人の知識、技術の差が出てしまいその個人によって 3D 構築の内容に差がみられる場合があります。スタンフォード大学の場合、その検査に対してのプロトコールが確立しており部位、読影医師によってもそのプロトコールが細分化してありました。私はこの点は非常に見習うべきことだと感じました。当院においてもこのようなシステムを実行出来る環境を整えることが重要であると感じました。また、学術的なことに対しても広い分野で知識や情報を身に付けることが重要であると再確認できた良い機会でありました。

3) 最も印象に残ったこと セミナーとイベント

この研修全てのセッションにおいて私自身、非常に刺激的でエキサイティングなセミナーでした。自分の中に新しい風を吹き込まれたようなそんな研修でした。その中でも最も印象に残ったことは最後のセッションでもありました Gary M. Glazer, Michael Moseley 両先生による "Future of Radiology" の講義でした。イメージングがさまざまな分野と結びついて今後さらに大きなものになっていくことや Molecular imaging が今後更に発展することにより治療ということまで出来ることなどさまざまなことを講義していただきました。

また、最も印象的なイベントとして研修内容ではないのですが滞在先の "Treat House" で夕食後に CT や MR の基礎的な講義が始まったことです。CT は藤田保健衛生大学の辻岡先生、MR は徳島大学の久保先生が行いました。まるで学校の授業のような、でもとてもラフに、そんな講義でした。全国のいろいろな方々が集まったこの研修でみんながとても打ち溶け合えたような光景でした。この研修を通じてさまざまな分野の方々と交流出来たことは私自身にとっても非常に大きな財産となりました。

4) 今後の海外研修に期待する事

今回の海外研修は第1回目でしたが研修の内容が非常に充実していてスタンフォード大学のスタッフ、また日本からのスタッフの方々にいろいろな面でバックアップして頂いて期待していた以上の研修内容でした。今後の海外研修に期待することは

各モダリティの講義内容を均等にして偏りがないようにする。これは、今回の研修は MRI を中心とした内容でしたが CT や PET を専門に研究している方には大変だったかもしれません。

逆に各モダリティ別に毎年テーマの比重を変えていく。

などがあります。ただ、非常に洗練された研修内容でしたのでどんどん参加していただきたいと思いました。

この1週間、今回の海外研修に参加させて頂きまして本当にありがとうございました。また、我々をいろいろな面からサポートして頂いたスタッフの方々にも感謝しています。研修で学んだことをフィードバック出来るように私自身さらに頑張っていきたいと思っています。ありがとうございました。

